

令和4年 第1回 茨木市障害者地域自立支援協議会全体会

開催日時	令和4年6月21日(火)午後3時00分～午後5時00分
開催場所	茨木市役所南館8階中会議室
会長	加藤委員
出席者	<p>【協議会委員】</p> <p>加藤委員、藤岡委員、森脇委員、三浦委員、吉岡委員、辻委員、山本委員、福永委員、天野委員、藤田委員、佐藤委員、森川委員、山口委員、遠藤委員、戸谷委員</p> <p>【オブザーバー】</p> <p>河原商工労政課長、竹下長寿介護課長、松山人権・男女共生課長、和田学校教育推進課参事</p>
欠席者	今村委員、山内委員
議題	<p>開会</p> <p>茨木市障害者地域自立支援協議会の概要について(スライド上映)</p> <p>①茨木市障害者地域自立支援協議会方針(案)について</p> <p>②茨木市における障害者相談支援体制及び相談支援実施状況について(その1)</p> <p>③令和3年度の協議会取組報告と令和4年度計画について</p> <p>④令和3年度障害者相談事業実績報告及び令和4年度事業計画について</p> <p>⑤茨木市における障害者相談支援体制及び相談支援実施状況について(その2)</p> <p>⑥その他</p> <p>閉会</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・茨木市障害者地域自立支援協議会の概要 ・茨木市障害者地域自立支援協議会方針(案) ・地域生活支援拠点等について ・令和3年度の協議会取組報告と令和4年度の計画について ・令和3年度障害者相談支援事業実績報告及び令和4年度事業計画について ・茨木市障害者相談支援事業における令和3年度概要について ・令和3年度茨木市障害者基幹相談支援センター事業実績報告・令和4年度事業計画について

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
事務局（とんぼ・木挽）	<p>Ⅰ 開会</p> <p>定刻となりましたので、令和4年度第1回茨木市障害者地域自立支援協議会全体会を開催いたします。</p> <p>本日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>私は本日の司会を務めさせていただきます、自立支援協議会事務局、相談支援センターとんぼの木挽と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、マスクを着用したままの説明や、説明の簡略化などにより、2時間以内の会議時間になるよう短縮に努めて開催してまいります。御協力よろしくお願いいたします。</p> <p>茨木市障害者地域自立支援協議会全体会の開催に当たり、諮問、会議・会議録の公開について説明いたします。</p> <p>全体会開催に当たっては、茨木市障害者地域自立支援協議会規則第2条により、福岡茨木市長より諮問書を受けています。諮問のあった以下の事項について、今後、当全体会について審議させていただきます。</p> <p>諮問のあった事項は</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域の現状・課題等の情報共有と情報発信について (2) 市から委託を受けた相談支援事業者に対する運営評価等について (3) 困難事例への対応のあり方について (4) 地域の社会資源の開発及び改善について (5) 地域のネットワークづくりについて (6) その他障害者の地域における自立支援に関する事項について <p>になります。</p> <p>今年度2回開催する予定の全体会で審議し、答申書を作成する予定にしております。</p> <p>それでは、初めに開会に当たりまして、茨木市福祉部、森岡部長より御挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。</p>

<p>福祉部長・森岡</p>	<p>皆様、こんにちは。福祉部の森岡でございます。開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。</p> <p>皆様方には、日頃からそれぞれのお立場で本市の全般にわたりまして、また、とりわけ障害者福祉の推進に御理解、また温かい御支援をいただいておりますことに、この場をお借りいたしまして厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>この茨木市障害者地域自立支援協議会は、平成20年11月に発足以来、今日まで障害者支援に関わる様々な関係機関の皆様方で協議を活発に行っていただいております、障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現に向けて、中核的な役割を担っていただいているというふうに考えております。</p> <p>この第1回全体会につきましては、例年、前年度の取組の報告や次年度の事業計画につきましては、また、この協議会の方向性などにつきまして御協議をいただいておりますけれども、令和2年度、3年度につきましては、新型コロナの関係で対面実施を見送っておりました。いまだ終息というところにはいっておりませんが、今回につきましては、感染対策を行いながら、冷房がかかっている窓を開けている状況で、少し暑いかもしれませんが、そういった状況の中で対面実施に至ったという状況でございます。3年ぶりの対面実施ということになりますので、委員の皆様方には活発な御意見を頂戴できればというふうに考えております。</p> <p>結びに、委員の皆様方には、今後とも相談支援の充実に一層のお力添えを賜りたいということをお願いを申し上げまして、簡単ではございますが、御挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局（とんば・木挽）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、異動や退職に伴う委員解職のため、令和4年6月1日付で新たに3名の方の委員委嘱が行われました。本協議会委員に初めてなられた方もいらっしゃいますので、配席図の順に委員の方々及び、オブザーバーの方々の御所属とお名前を御紹介させていただきます。</p> <p>恐れ入りますが、お名前をお呼びしましたら御起立いただきますようお願いいたします。お立ちになるのが難しい方は手を挙げていただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、関西福祉科学大学教育学部教育学科教授の加藤委員です。加藤委員におかれましては、茨木市障害者地域自立支援協議会規則第5条におきまして、本協議会会長を務めていただきます。</p>

	<p>続きまして、特定非営利活動法人自立生活センターほくせつ24の藤岡委員です。藤岡委員には副会長を務めていただきます。</p>
藤岡委員	<p>よろしく申し上げます。</p>
事務局（とんば・木挽） 森川委員	<p>茨木障害フォーラム、森川委員です。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
事務局（とんば・木挽） 三浦委員	<p>市民委員、三浦委員です。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
事務局（とんば・木挽） 森脇委員	<p>市民委員、森脇委員です。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
事務局（とんば・木挽） 藤田委員	<p>茨木公共職業安定所、藤田委員です。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
事務局（とんば・木挽） 佐藤委員	<p>茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、佐藤委員です。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
事務局（とんば・木挽） 戸谷委員	<p>障害福祉サービス事業所連絡会日中活動系部会、戸谷委員です。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
事務局（とんば・木挽） 遠藤委員	<p>障害福祉サービス事業所連絡会居宅介護部会、遠藤委員です。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>

事務局（とんば・木挽） 山本委員	茨木医師会、山本委員です。 よろしく申し上げます。
事務局（とんば・木挽） 山口委員	タクト相談支援センター、山口委員です。 山口です。よろしく申し上げます。
事務局（とんば・木挽） 天野委員	茨木支援学校、天野委員です。 よろしく申し上げます。
事務局（とんば・木挽） 福永委員	茨木市社会福祉協議会、福永委員です。 よろしく申し上げます。
事務局（とんば・木挽） 辻委員	障害者当事者部会、辻委員です。 よろしく申し上げます。
事務局（とんば・木挽） 吉岡委員	障害者当事者部会、吉岡委員です。 よろしく願いいたします。
事務局（とんば・木挽）	続きまして、オブザーバーの紹介をいたします。 商工労政課、河原課長です。
商工労政課長・ 河原	よろしく願いいたします。
事務局（とんば・木挽）	長寿介護課、竹下課長です。
長寿介護課長・ 竹下	よろしく申し上げます。

<p>事務局（とんぼ・木挽） 人権・男女共生課長・松山 事務局（とんぼ・木挽） 学校教育推進課参事・和田 事務局（とんぼ・木挽）</p>	<p>人権・男女共生課、松山課長です。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>学校教育推進課、梶西課長の代理の今村参事です。</p> <p>今村の代わりに和田が参加させていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、委員の出欠について報告させていただきます。</p> <p>本日、山内委員、今村委員が欠席されております。</p> <p>本日は、3名の方が傍聴されていることを報告いたします。</p> <p>また、茨木市障害者地域自立支援協議会の議事ですが、正確な記録を行うため、音声を録音させていただきます。委員の皆様が御発言の際には、係の者がマイクをお持ちしますので、マイクを通しての御発言をお願いいたします。</p> <p>議事につきましては、原則公開といたします。ただし、個別のケースなどについて、協議、検討を行う場合は、個人情報保護の観点から非公開として取り扱います。</p> <p>それでは、会議を始めさせていただきます。</p> <p>最初に、会議資料などの確認をさせていただきます。本日の会議資料といたしまして、委員の皆様には事前に送付させていただきました全体会資料、参考資料として送付させていただきました「避難所における障害者支援ガイド」。次に、お席に置かせていただいております配席図、以上の資料などをお持ちでしょうか。もしそろっていないようでしたら、係の者がお持ちいたしますので挙手を願います。</p> <p>それでは、当協議会全体会を開催させていただきます。</p> <p>ここからの進行は加藤会長に引き継ぎます。</p> <p>加藤会長、よろしく願います。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>先ほど御紹介にあずかりました加藤と申します。よろしく願います。</p> <p>これからですが、委員の皆様方の御協力を得ながら進めていきたいと思っております。</p> <p>事前に事務局から資料等を送付をしており、私の不手際もありまして、少しぎりぎりになって申し訳なかったんですけども、ご覧いただいていることと存じ上げます。</p> <p>それでは、次第に沿って進めてまいります。</p> <p>本日は今年度最初の全体会であり、昨年度の第1回全体会は書面開催のため、</p>

事務局（リーベ・辻）	<p>対面での開催ができなかったことをごさいます。議題に入る前に茨木市障害者地域自立支援協議会について、簡単に説明をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、事務局の辻様、どうかよろしく願いいたします。</p> <p>自立支援協議会事務局の相談支援センターリーベの辻と申します。自立支援協議会の概要について、パワーポイントのスライドを見ていただきながら御説明させていただきます。</p> <p>会長、副会長は席の移動をお願いいたします。</p> <p>委員の皆様は、1ページから始まります資料1をご覧ください。</p> <p>それでは、再生をよろしく願いします。</p> <p style="text-align: center;">（動画再生 開始）</p> <p style="text-align: center;">（動画再生 終了）</p>
加藤会長	<p>本協議会の概要についての御説明ありがとうございました。</p> <p>それでは、続きまして議題1の茨木市障害者地域自立支援協議会方針（案）について、事務局から御説明をお願いします。</p>
事務局（リーベ・辻）	<p>自立支援協議会事務局、相談支援センターリーベの辻と申します。</p> <p>11ページからの資料2をご覧ください。この後の議題3でも御説明いたしますが、今年度から地域生活支援拠点等プロジェクトチームが発足いたしました。このことから、「主な活動方針」に8として以下の活動方針を追加しました。追加した方針は、「障害のある方の高齢化・重度化、介護を担っている家族の高齢化等による家族の変化を見据えた地域生活支援の仕組みを考えます。」という活動方針です。</p> <p>茨木市障害者地域自立支援協議会方針について、追加した部分の説明は以上です。</p>
加藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの御説明について、御意見、御質問等がありましたら挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、この議題1については承認案件ですので、確認をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>ただいま説明のありました議題1、茨木市障害者地域自立支援協議会方針につ</p>

<p>事務局（福祉総合相談課係長・名越）</p>	<p>いて、御承認いただける方は挙手をお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。過半数以上の方が挙手してくださいましたので、議題1については承認となりました。</p> <p>続きまして、議題2、茨木市における障害者相談支援体制及び相談支援実施状況について(その1)、(1)地域生活支援拠点等の取組状況について、福祉総合相談課から説明をお願いします。</p> <p>福祉総合相談課の名越と申します。よろしく願いいたします。私のほうから、地域生活支援拠点等の取組について御説明いたします。</p> <p>資料の17ページをご覧ください。初めに、地域生活支援拠点等の概要について御説明いたします。地域生活支援拠点等は、障害のある人の高齢化や重度化、介護を担っている人の高齢化などによる家族の変化を見据えて、住み慣れた地域で暮らし続けるための地域の体制を整えることです。</p> <p>19ページにありますイメージ図をご覧ください。地域生活支援拠点等には5つの機能があります。機能の内容は、相談、緊急時の受入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりになります。茨木市では、この5つの機能を備えた建物を整備するのではなく、事業所などがお互いに協力し連携しながら、障害のある人の支援体制を構築しております。</p> <p>続きまして、令和3年度の取組について御報告いたします。17ページにお戻りください。令和3年度は5件のモデルケースを通じて取組を行いました。今回の取組は、相談、緊急時の受入れ・対応に重点を置き、モデルケースは、障害福祉サービスや計画相談支援を利用しつつも、家族内で介護の中心を担っている方が高齢になっておられる世帯を対象としました。この取組では、何らかの理由で急に介護ができなくなったときに障害のある人や支援者が行うこと、また、短期入所などを利用するときに必要な情報などを記載する様式を作成しました。</p> <p>20ページをご覧ください。20、21ページのものは支援者向けのもの、22ページの様式は御家族や御本人さんに向けたものになります。この様式は今後、運用を行いながら、改善点があれば改良を行う予定にしております。</p> <p>続きまして、令和4年度の取組についてです。時間の関係上、1点のみ御説明いたします。18ページをご覧ください。③地域生活支援拠点等プロジェクトチームの立ち上げになります。地域生活支援拠点等は、先ほど御説明したように5つの機能があり、様々な利用者などが協力しながら体制を構築しています。そのため、5つの機能がうまく機能しているか、また、うまく機能するには何が必要かを考え、課題の</p>
--------------------------	--

<p>加藤会長</p>	<p>解決を目指していきます。このプロジェクトチームの活動内容は、次の議題で報告いたします。</p> <p>説明は以上となります。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの説明について、御意見、御質問等がありましたら挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本件の報告は以上とさせていただきます、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議題3、資料3、23ページからをご覧ください。続きまして、令和3年度の協議会取組報告と令和4年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>最初に、地域生活支援拠点等プロジェクトチームの説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局（菜の花・舟木）</p>	<p>そうしましたら、地域生活支援拠点のプロジェクトチーム、令和4年度から新しく始まるプロジェクトチームです。座長を務めます、菜の花障害者相談支援センターの舟木と申します。</p> <p>では、ページとしましては、25ページ、26ページをご覧ください。活動方針、企画の目的、長期目標という形で紹介させていただきます。</p> <p>活動方針としましては、地域生活支援拠点そのものが活動の方針になってきます。障害のある方の高齢化・重度化、介護を担っている家族の高齢化などによる家族の変化を見据えて、住み慣れた地域で暮らし続けていくための地域体制づくりを考えていく、そういったプロジェクトチームになります。</p> <p>目的は、先ほど説明ありました5つの機能、相談、緊急時対応、体験の機会、人材育成、地域づくりがうまく茨木市の中で連携して機能していくとか、関わりのある現場の支援の意見を出し合って検討、確認し合う場としています。また、茨木の5圏域、東・西・南・北・中央、各地域ごとに出てきた課題を各部会につないで解決策を考えていきます。</p> <p>取組の内容です。令和3年度は緊急時に備えた支援計画、体制づくりを5圏域で試行的に検討していきました。令和4年度は、それらの緊急時を見据えた計画、体制づくりを実際に実行しながら、より将来を見据えた相談とか体制づくりを検討していきます。皆さんが行く行くは考えないといけないなと漠然と思っていたことを、実践しながら検討していく形になります。</p> <p>ですので、皆さん、多くの方の意見をいただきながらになりますので、御協力のほ</p>

<p>加藤会長</p>	<p>どいただけたらと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの説明について、御意見、御質問等がありましたら挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、続きまして、相談支援部会、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局（ぽぽんがぼん・山本）</p>	<p>相談支援部会の座長を務めさせていただきます、いばらき自立支援センターの山本です。よろしくお願いいたします。</p> <p>ページは27ページからになります。まず、令和3年度の取組報告についてですが、活動方針等は特に変わらないのですが、参加機関に障害福祉課が9月から加わっています。その下、長期目標に取り組む上で残された課題というところで、新たに参加する事業所や相談員が増えたことで、相談の経験年数の違いが出てきたり、研修内容や事例検討時のグループ分け等も今後考えていく必要があるという、残された課題というか、そういったのが出てきています。</p> <p>ページをめくっていただきまして、28ページ、実施期間の目標は達成されたかというところなんですけれども、ある程度達成できたとさせていただいています。昨年度も、新型コロナウイルスの影響で、対面での実施が難しいことがありました。なので、オンラインを活用しながら開催を行いました。ただ、その中で、オンラインの課題というのも出てきています。また、対面実施の希望も多いので、令和4年度は状況を見ながら実施していく必要があると思っています。</p> <p>では、時間もないので、令和4年度、相談支援部会の企画、31ページの参加機関、活動方針、企画の目的、長期目標はまたご覧ください。</p> <p>ページをめくっていただきまして、1. 実施期間の目標としましては、相談支援に必要な視点を学ぶこと。2. 社会資源など、相談業務に必要な情報提供、共有を行い、日々の支援に活かす。3. 相談支援における書類作成等の事務作業を円滑に行えるようにするということが目標としています。</p> <p>実践する項目等につきましては、またご覧いただき、その他、ページの下部、その他自由記述のところなんですけれども、今年度は2か月に1回の開催を予定しております。必要に応じて相談員の悩みの共有、困り事を共有する機会を部会を行わない月に開催する予定です。</p> <p>また説明があると思いますが、地域定着部会と連携して研修会を行う予定にな</p>

	<p>っております。</p> <p>以上、報告とさせていただきます。ありがとうございます。</p>
加藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの説明について、御意見、御質問等ありましたら挙手をお願いいたします。</p>
辻委員	<p>すみません。</p>
加藤会長	<p>辻委員、どうぞ。マイクを。</p>
辻委員	<p>29ページの③番の下から4行目の手続とかのフローって、フローってどういう意味ですかね。</p>
加藤会長	<p>よろしいでしょうか。お願いいたします。</p>
事務局（ぽぽん がぽん・山本）	<p>ありがとうございます。手続等の流れになります。大丈夫でしょうか。</p>
辻委員	<p>ありがとうございます。</p>
加藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、続きまして就労支援部会、よろしくようお願いいたします。</p>
事務局（JSN茨 木・横田）	<p>就労支援部会、JSN茨木の代表の横田と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>34ページになります。時間の関係上かいつままでの報告になります。</p> <p>3年度のほうを振り返っての報告です。実施期間の目標達成できたかというところでは、コロナ禍ではあるんですが、それなりに頑張れたかなということで、「できた」にしております。</p> <p>この取組内容というところで、34ページ一番下の①から次ページの⑤までなんですけども、こういった活動を去年度はさせていただきました。その中でも、市内の大学に訪問させていただいて、少し障害者雇用の可能性を探ったり、大学の職員の方から現状をお聞きしたりというのを、昨年度は目新しい活動としてさせていた</p>

	<p>だいております。</p> <p>今年度の参加機関ですが、前年度、藍野療育園に入っていたのですが、今年度からは相談支援センター「りあん」に入っています。</p> <p>続きまして、36ページに移っていただき、今年度の目標ですが、その下は特に変更ありませんので、次のページに行ってください、4年度いろいろさせていただくんですけども、今年度は1. 企業との意見交換、2. 教育機関における就職困難学生に対して、どんな取組が行われているのかについて少し調査していこうと思っております。その上で余力があれば、研修会等もさせていただこうかなと思っておりますので、今年度はそういう形で活動させていただきます。よろしくお願いします。</p> <p>以上です。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの説明について、御意見や御質問、あるいは次年度の企画のほうにありました障害者就労に関する身近な困り事などありましたら教えていただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
森脇委員	<p>ちょっといいですか。</p>
加藤会長	<p>どうぞ。</p>
森脇委員	<p>市民委員の森脇です。</p> <p>ページが、35ページの上から6行目の⑤番、支援学校教員対象の研修を実施するという項目の中の2番目になるんですけども、進路マップの配付が遅れている。進路マップを小・中学校の支援級に通う保護者、関わる教員に配付をしたいが、教育委員会等の理解を得る機会が持ていないというふうに書いてあります。</p> <p>私の息子が今、支援学校に通っておりますので、配付していただいたんですけども、やっぱり今インクルーシブ教育って言われている中で、地域の中で支援級、地域の支援級でも重い障害をお持ちの方がいらっしゃると思うんですね。なので、平等に情報提供できないかっていう思いはずっとあって、地域の小・中学校に配付できていないということなので、これから配付していただけるのか、お伺いしたいです。</p>
加藤会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その点についていかがでしょうか。</p>

事務局 (JSN 茨木・横田)	<p>そうですね、なかなかやっぱり資料が、広く市民の方に行き渡るっていうところで、茨木支援学校は進路指導の流れがあるので、そこと混同しちゃうとよくないので、教員の方には配らせていただきました。そこを地域の学校の支援級の御家族の方に配付となると、またさらに説明が要るため、現在、教育委員会、学生、課名は不確かですが学務課の方と話をしているところです。</p> <p>支援コーディネーターの先生方の集まりを秋頃に開催するかもしれないということで、時間があればそこに私どもお邪魔させていただいて、少しお話ししようかなというふうに思っています。</p> <p>なかなか大変なんですけど、地道にやっていこうと思っていますので、御希望に応えるように頑張りたいと思います。ありがとうございます。</p>
森脇委員	<p>よろしくお願いします。</p>
加藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この点含めまして、どなたか御意見等ございましたらお願いします。森脇委員からもございましたように、インクルーシブ教育の推進ということでは、全ての教員がやっぱりそういうことに熟知していくということは非常に重要だと思いますし、具体的に進めていただいているようですので、今後さらに進展していくことを願いたいと思います。</p> <p>それでは、次に参りたいと思います。障害者当事者部会、よろしくお願いいたします。</p>
事務局 (ほくせつ24・山下)	<p>障害者当事者部会の事務局の担当をしています、ほくせつ24の山下と申します。よろしくお願いします。</p> <p>当事者部会は、2か月に1度の頻度で会議が行われています。委員の構成メンバーですけれども、精神の方が4名、知的の方が3名、身体の方が3名の合わせて10名で行われています。</p> <p>令和3年度は、部会の中で様々な場面や困り事などについて話し合う機会がありました。その中で時に話が道を反れたり、または話が大きくなり過ぎることがあったので、部会の中では、まずどんなテーマを行いたいとか、どんな方に聞いてほしいとか、そういう道筋を立てることをテーマに部会で話してきました。</p> <p>その中で、ページ数でいうと39ページから40ページになりますけれども、学習会だけとか、また、学習会にあっては、サービスを使っていない委員も多くおられますの</p>

	<p>で、実際に福祉サービスにどんなものがあるかっていうのを勉強するために内部学習を行ったり、また、普段どんな事業所・作業所があるかというのを知りたいという意見もあったので、事業所交流会というものを行いました。またですね、後でまた説明があると思いますけども、障害者避難所プロジェクトチームの中でも意見交換することができました。</p> <p>令和4年度の取組としては、現在ヘルプマークが施行されて5年ぐらいになりますけども、まだまだ認知度が低いのが現状であって、部会の中でもヘルプマークをつけることで障害のアピールになるのでつけているという方もいれば、それが分かってしまうのでつけたくないという意見もあって、ヘルプマークの使い勝手とか効果についてアンケートを実施したいと思います。7月以降に相談支援事業所や日中系デイケアなどに郵送を予定しています。また、集約して課題の掘り起こしについて、今年度取り組んでいきたいと思います。</p> <p>簡単ですけども、以上です。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの説明について、御意見、御質問等ございましたら挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>そうしましたら、続きまして、地域移行・地域定着部会のほうにお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
事務局（ひまわり・松田）	<p>地域移行・地域定着部会について御報告させていただきます、相談支援センターひまわりの松田です。よろしくをお願いいたします。</p> <p>資料は43ページからご覧ください。地域移行・地域定着部会では、施設入所されている方や長期入院されている方が地域での生活を選択でき、安心して暮らせる地域づくりを目指しています。部会では、精神科病院チームと施設チームに分かれ、隔月で開催をさせていただいています。</p> <p>昨年度の取組についてですけれども、精神科病院チームでは、近隣精神科病院から実際に地域移行したケースについて、担当者の相談支援事業所にも御参加いただき、事例報告会を開催しました。コロナ禍ということで、外出や外泊に大きな制限がある精神科病院ですが、地域移行を進めるために、病院スタッフも様々な工夫がされたということも報告されています。また、部会の中で、院内新聞の情報提供を受け、地域移行支援制度のパンフレットとセットで置いてもらうチラシの作成も始めました。</p>

	<p>施設チームのほうでは、他市、大東市ですけれども、の取組について学んだり、情報交換の場を持ちました。また、地域移行後の受け皿となるグループホームを運営する法人との意見交換会を設けることもできました。地域の民生委員や福祉委員との啓発研修会の開催、施設入所されている方で区分更新を迎える方の認定調査に同席し、計画相談導入推進などを実践してきました。</p> <p>今年度の取組ですが、精神科病院チームでは、病院ケースワーカーとの情報交換の機会を設けて、コロナ禍での退院支援を考えていきます。また、昨年度から持ち越しております、入院中の方に向けた、地域の暮らしを知ってもらうチラシづくりにも取り組んでいます。施設チームでは引き続き、入所中の方の認定調査へ同席し、計画相談導入を推進したり、施設職員向けの啓発研修の形を模索していきます。</p> <p>先ほどありましたように、部会全体として、相談支援部会と共同しての研修会も予定しております。</p> <p>以上です。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの説明について、御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、続きまして、研修・啓発プロジェクトチーム、よろしく願いいたします。</p>
事務局（ゆうあい・本多）	<p>研修・啓発プロジェクトチームの報告をさせていただきます、相談支援事業所ゆうあいの本多です。</p> <p>まず、令和3年度の報告からさせていただきます。50ページをご覧ください。</p> <p>昨年度は活動方針として、市民・支援関係者に、福祉に関する情報やその他必要な情報を分かりやすく発信する、また、障害に関する理解を広げることを掲げ、障害に関する啓発活動を実施いたしました。具体的には、51ページにありますように、文化、芸術、スポーツなどの交流を通して障害理解を深めることを目標に取り組み、当初の目標どおり達成することができました。</p> <p>続いて、令和4年度の企画を説明させていただきます。53ページからになります。</p> <p>令和4年度の企画でも活動方針や目的に大きく変更はありませんが、具体的に目標達成に向けて実践する項目として、今年度は災害時における障害のある人への合理的配慮について研修や動画作成を行うこと、障害者地域自立支援協議会についての情報発信を行うことを挙げています。実践に当たり、想定される課題や困難は、やはり新型コロナウイルスの感染状況により柔軟な対応をしなければなら</p>

	<p>ないことです。対面、オンライン研修などにおいて配慮をしていきたいと思います。また、障害福祉センターハートフルで実施される地域生活支援拠点整備人材育成事業において、研修・啓発プロジェクトチームの目的と内容に共通するものがある場合には、相互に協力して企画、実施していくことにしています。</p> <p>年間計画としましては、11月に講師を招いての研修と同時に作成した動画の上映を企画しており、それに向けての準備に取り組んでいきます。</p> <p>以上です。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの御説明について、御意見、御質問等ありましたら挙手をお願いいたします。</p> <p>吉岡委員。</p>
吉岡委員	<p>当事者部会の吉岡です。</p> <p>研修・啓発の情報、私も含めてなんですけど、障害のある人に対する情報が多いと思います。だから、障害の啓発には時間がかかっているのかなという印象です。</p> <p>以上です。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>様々なたくさんの情報があるので、なかなかそれを広めていくのも難しいということですね。</p>
吉岡委員	<p>そうですね。</p>
加藤会長	<p>その辺りのことで、もし何かございましたら。よろしいですか。</p>
事務局（ゆうあい・本多）	<p>ありがとうございました。</p> <p>情報の多さに関しては、非常にたくさんの情報がありますので、ポイントを絞って、分かりやすく伝えていきたいというところは工夫が要るかと思っております。ありがとうございます。</p>
加藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、子ども支援プロジェクトチーム、よろしく願いいたします。</p>

事務局（リーベ・辻）	<p>子ども支援プロジェクトチームの座長を務めています、相談支援センターリーベの辻と申します。</p> <p>55ページから57ページの子ども支援プロジェクトチーム、令和3年度を振り返ってをご覧ください。</p> <p>子ども支援プロジェクトチームは、障害のある子どもとその家族が暮らしやすい地域をつくるための取組を行うことを方針に活動しています。この方針の下、令和3年度は、子ども支援プロジェクトチームの参加機関である保健、医療、福祉、教育などの他機関の取組を共有し、年齢に伴って変化する生活段階における関わりを知るためのグループワークを行い、また、医療的ケア児・者向けの社会資源不足等の課題を共有しました。また、障害児に関するサポートブックである「いばらきっ子ファイル」をより活用していただくための協議を行いました。</p> <p>次に、59ページの令和4年度子ども支援プロジェクトチーム企画の実施期間の目標は何かということという箇所をご覧ください。</p> <p>今年度は福祉と教育の連携を深めるための教育機関への啓発活動を実施すること、子ども支援プロジェクトチーム参加機関の強みを生かした活動を行うため、各機関の専門的な取組を共有すること、医療的ケア児コーディネーターと連携して情報共有を行い、地域の実態把握に努めることを目標に活動します。また、今年度より、茨木市こども育成部保育幼稚園総務課がプロジェクトメンバーとして参加していますので、より連携を深めた活動を行ってまいりたいと思います。</p> <p>報告は以上となります。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの御説明について、御意見、御質問等ございましたら挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、障害者避難所プロジェクトチームよろしくをお願いいたします。</p>
事務局（あゆむ・前川）	<p>障害者避難所プロジェクトチームの報告をさせていただきます、相談支援事業所あゆむの前川です。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、60ページの表の下のほうにあります企画の目的ですが、4年前の大阪府北部地震を受けまして、災害発生時に指定避難所、一次避難所において障害者が避難し、過ごしやすい環境を整備できるように働きかけていくというのが企画の目的で始めております。ページの下の方ですけども、昨年度は「避難所における障</p>

	<p>害者支援ガイド」という冊子を作成いたしました。本日、委員の皆さんに1冊ずつお渡ししていますので、ご覧いただければと思います。この冊子を作ったことで、市役所の危機管理課に冊子の必要性を説明しまして、茨木市全75か所の指定避難所の備品として入れてもらっております。自主防災会30団体にお渡しすることができました。</p> <p>作成に当たり気をつけたことは、ご覧になって分かるように、障害のことをよく分からない方でも、分かりやすく、見やすくすること、災害発生時は皆さん余裕がないため、障害別の最初の項目に大切なポイントとか支援のポイントというのを記載しました。あと、障害当事者の立場に立った配慮をしてもらえるように心がけました。</p> <p>62ページに移って、今年度の目標としましては、この冊子を作ったので、これを様々な手段を通して、当事者の方、市民にこのガイドがあることを知らせるとのこと、あともう一つは、避難訓練に参加して、自主防災会にガイドを使って運用してもらおうということを目指しております。具体的には広報等を使ったり、市内事業所の避難訓練などで多く目に触れていただけるように働きかけるということ、あと、自主防災会の訓練で実際に活用してもらおうということを実践しようとしています。</p> <p>以上です。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの御説明について、御意見、御質問等ありましたら、また、「避難所における障害者支援ガイド」が指定避難所に置かれていますが、ほかにどのような場所、場面で使われるとよいか、もしそういった機会等あれば教えてくださいということですが、それを含めていかがでしょうか。</p> <p>森脇委員。</p>
森脇委員	<p>市民委員の森脇です。</p> <p>この「避難所における障害者支援ガイド」というのを見させてもらって、とても分かりやすかったです。大阪府北部地震のときに思ったのは、小学生の高学年だったり、中学生、高校生もとても支援者として頼りになるなということをすごい感じたんですね。もしできるのならば、学校の防災の授業のときにこういう、子供たち対象に、障害のある人たちも普通の避難所に行けますっていうことを、知る教材の一部として使ってもらえるのかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>

加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>吉岡委員。</p>
吉岡委員	<p>この障害者支援ガイドなんですけども、障害のある当事者の意見を言おうかなと思ってます。もし大阪北部地震みたいな地震が起こったときに、この支援ガイドがあると、当事者の立場からしてもありがたいなと思っております。以上です。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>ほかいかがでしょうか。</p> <p>福永さん。</p>
福永委員	<p>茨木社協の福永です。</p> <p>このガイドブックなんですけど、今日配っていただいているんですけど、このガイドブックって誰も見られるように、例えばホームページで内容が確認できるとか、もしそういうことができるのであればいいかなというふうに思います。</p> <p>62ページの下のほうに、「目標達成に向けて実践する項目」で、「社協の広報」っていうのも書いていただいているんですけども、またそういった協力もできるかなと。このガイドブックを作成するのに社協の職員も関わっていましたので、そう思っています。</p> <p>以上です。</p>
加藤会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。</p>
山口委員	<p>山口です。</p> <p>これ、例えば茨木市の広報に、一遍に全部載せるのは難しいとしても、例えば連載記事とかで、今日は身体障害の方、次は知的障害の方とかいうふうに、誰もが、やっぱり市民が、皆さんが見るものに対して連載みたいな形で載せていくことは、割と皆さんに広まるのでいいんじゃないかなと思いました。以上です。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>私も、今、皆さんからあったような御意見で、より広く、せっかくいいものですので、</p>

<p>加藤会長</p>	<p>広めていていただきたいのと、あと、当事者の方ですね、当事者の方がこういうものがちゃんとあるんだというようなことを知ることで安心感にもつながると思いますので、そちらのほうでも少し考えていただければなというふうに思いました。</p> <p>それでは、誠に申し訳ないんですけども、私のほうで1点不手際がございまして、研修・啓発プロジェクトチームが、この資料の中で質問を記していただいていたんですが、私のほうで先ほどしっかりと御紹介できていなかったです。申し訳ありません。</p> <p>新型コロナウイルス下での研修・啓発活動のあり方について、もし何か御助言、御意見等ありましたらということだったのですが、委員の皆様でお考えいただいていたようなことがもしありましたらお聞かせ願いたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>研修・啓発プロジェクトチームの方、本当に失礼いたしました。また終了後にも、私のほうからも少し感じたところなどをお伝えできればなと思います。</p> <p>それでは、議題3、各部会・プロジェクトチームの令和4年度計画について、こちらのほうは承認案件になっておりますので、先ほどのように確認をさせていただきます。</p> <p>御承認いただける方は挙手をお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。過半数以上の方が挙手してくださいましたので、議題3につきましては、全ての部会・プロジェクトチームの令和4年度事業計画について承認となりました。ありがとうございました。</p> <p>それでは、この会議、もう1時間を超えてまいりました。ここで5分間、休憩時間を取らせていただきたいと思います。なにぶん2時間以内で終わりたいというふうに思っておりますので、細かいことで申し訳ないんですけども、後ろの時計で4時14分再開めで御参集いただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>では、休憩に入りたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">休憩 午後4時09分 再開 午後4時14分</p> <p>では、そろそろまた時間になろうかと思っておりますので、御着席のほうをよろしく願います。</p> <p>それでは、時間となりましたので、後半の議事を進めてまいります。議題4、令和3年度障害者相談支援事業実績報告及び令和4年度事業計画についてです。</p> <p>質疑応答は、議題4につきましては、全ての事業所の報告終了後に行います。</p>
-------------	---

	<p>それでは、最初の相談支援事業所ゆうあいをお願いしたいと思います。よろしく お願いいたします。</p> <p>相談支援事業所ゆうあいの本多です。</p> <p>67ページをご覧ください。担当地域は清溪、忍頂寺、山手台地区を担当しています。清溪、忍頂寺地区では、老年人口の占める割合が年々高くなっています。山手台地区も高齢化の割合が増えていますが、新たな住宅地では年少人口の増加も見られています。一般交通機関はバスのみで、本数も少なくなり移動に困難さがあります。買物や通院などの必要な外出手段、機会を確保するために、地域での取組が始められています。</p> <p>令和3年度のまとめとしましては、新型コロナウイルスの影響もあり、会議や活動が中止になることがありましたが、相談支援においては関係する事業所と連絡を密にし、支援を行うことができました。地域において、福祉サービスの利用に至らない方の見守りや支援を、地域の事業所や民生委員の協力を得て継続することができました。自立支援協議会においては、研修・啓発プロジェクトチームでは障害者の芸術やスポーツの研修啓発、また、地域移行・地域定着部会では、地域移行等についての課題の解決に取り組みました。</p> <p>令和3年度に力を入れることとしましては、引き続き、地域の身近な相談の窓口として気軽に相談していただけるように周知するとともに、地域の活動や会議に参加していきます。地域の事業所や民生委員の協力を得ながら、見守りや支援を継続していきます。自立支援協議会においては、研修・啓発プロジェクトチームの座長として、障害福祉に関する研修啓発に取り組みます。</p> <p>以上です。</p>
<p>事務局（ゆうあい・本多）</p>	<p>加藤会長</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>では、次に、相談支援センターあい・あい、お願いいたします。</p>
<p>事務局（あい・あい・杉井）</p>	<p>こんにちは、相談支援センターあい・あいの杉井と申します。</p> <p>お手元の資料の68ページを御参照ください。当センターでは、茨木市の北東部に位置しております、安威・耳原、福井小学校区を担当しております。ここ最近、コロナ禍で難しいところもあるんですけども、民生委員や主任児童委員の動きが活発で、特に子どもやその御家族の支援に積極的な地域となっております。最近、特に経済的な悩みを抱える御利用者からの相談も増えていますが、支援機関だけ</p>

	<p>でなく、民生委員や主任児童委員の協力を得ながら支援に努めてまいります。</p> <p>また、前年度、座長もしておりました地域移行・地域定着部会でも、引き続き副担当を務めますので、同じくセーフティーネット会議だったり、そういった場で、地域の方々への啓発活動に取り組んでいけたらと考えております。</p> <p>簡単ですが、以上になります。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>続きまして、相談支援事業所あゆむ、お願いいたします。</p>
事務局（あゆむ・前川）	<p>相談支援事業所あゆむの前川です。</p> <p>あゆむでは、北圏域の郡山・彩都西・豊川小学校区を担当しております。昔ながらの村落から府営住宅、市営住宅、新興住宅地まであるところです。医療機関は総合病院が一つあるぐらいで少なく、社会資源が全体に少ないというところがあります。</p> <p>自立支援協議会については、前段で説明してますので省略させていただいて、令和4年度の力を入れることとしては、3番にありますように、うちの地域では多いのかもしれませんが、精神障害の方で未受診の方が多くて、その支援体制について整理していきたいと思っております。本人の人権を守った上で最善の策を考えていきたいと思えます。まだコロナウイルスの感染が収まっておらず、引き続き必要な情報、支援を相談者に発信していきたいと思えます。</p> <p>以上です。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>では、次に、相談支援センター藍野療育園、お願いいたします。</p>
事務局（藍野療育園・瀧山）	<p>相談支援センター藍野療育園です。</p> <p>資料70ページ、御参照ください。担当地域は、市の東側、太田小学校区と西河原小学校区です。昨年、大型商業施設のイオンタウン茨木太田店ができて、その周りに分譲マンションができて、他地域からの編入者が徐々に増えてきている地域です。</p> <p>令和3年度は、各小学校区のセーフティーネット会議やエリア連絡会に参加して、高齢者やコミュニティソーシャルワーカーなど、各分野の方々の活動や見守りが必要な御家庭について情報を共有し、各機関との連携を図ることができました。その</p>

	<p>ほか、太田小学校、西河原小学校の福祉体験授業を他機関と協働で実施し、児童らからよい反響がありました。</p> <p>自立支援協議会では、就労支援部会と子ども支援プロジェクトチームの副座長として座長を支え、参加機関間の連携や取組がスムーズにできるよう努めました。</p> <p>令和4年度に力を入れることといたしましては、研修・啓発プロジェクトチームの副座長として、支援者や市民に分かりやすい啓発活動や情報発信ができるよう、関係機関と一緒にやってまいります。また、昨年度と同様に、地域の支援者の方々などと連携し、身近な相談窓口として周知していただけるよう活動いたします。</p> <p>以上になります。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>続きまして、相談支援センターひまわり、お願いいたします。</p>
事務局（ひまわり・間部）	<p>相談支援センターひまわりの間部と申します。いつもお世話になっております。</p> <p>71ページになります。ひまわりの圏域は東圏域の三島・庄栄小学校、東・白川小学校区の2エリアを担当しています。阪急総持寺駅周辺や高槻市に隣接した地域です。古くからの地元の方が多く一方で、JR総持寺駅前の新設により大型マンションや新興住宅が建設され、新旧の住宅が入り交じっています。また、複合型の大型スーパーマーケットの建設や私立大学の移設により、多世代の方が集うまちになっています。入院可能な精神科の病院が圏域に立地、総持寺駅前には内科や歯科も多く点在しています。日常生活の買物は、食料品を中心に扱うスーパーマーケットや薬局、コンビニも数か所にあります。</p> <p>令和3年度のまとめに記載してあるとおり、引き続きの活動として、今年度、自立支援協議会の活動では、地域移行・地域定着部会の座長を担当しています。長期入院、施設入所の方が地域での生活を選択できるよう、安心して暮らせる地域となるよう、部会メンバーと協力しながら取り組んでいきたいと考えています。また、昨年度から東保健福祉センターの配置となっています、身近に相談できる地域の相談窓口として周知いただけるよう、引き続き活動していきます。また、地域包括支援センター、保健師等、多職種が配置されているセンターのメリットを生かして、地域のネットワークの強化や障害理解に努めること、複合課題への取組や、またその取組から地域課題の抽出へつなげていけるよう、意識して活動していきたいと思っています。</p> <p>以上です。</p>

加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>では、続きまして、相談支援センター「りあん」、お願いいたします。</p>
事務局（りあん・樋口）	<p>相談支援センター「りあん」の樋口と申します。</p> <p>資料は72ページをご覧ください。担当地域の特徴は、春日・郡・畑田小学校区と沢池・西小学校区の2つの地区を担当しております。住宅街が多いのですが、交通の利便性に差が大きく、地域によっては社会資源が少なく、対応できる事業所が限られることがあります。また、令和4年4月より、西保健福祉センターが開設されました。</p> <p>令和3年度のまとめです。コロナ禍が続く中、面談や訪問などの対面での相談業務をおおむね通常どおりできました。感染が心配な方には、相談員が外出先まで出向き、屋外で短時間話をしたり、支援会議などの話し合いをオンラインでしたりと工夫して対応ができました。社会福祉協議会からの依頼で、小学校の福祉体験学習会に当事者と一緒に参加し、障害への理解を深めることに協力しました。また、自立支援協議会では、相談支援部会の副担当として、企画運営に参画しました。サービス等利用計画にある災害時の項目の作成状況について振り返りを行うことができました。</p> <p>次に、令和4年度、力を入れることについてです。西保健福祉センターでの相談業務について、どのような体制がよいか、相談支援状況や他機関の動き、ほかのセンターの様子なども参考に考えていきたいと思います。地域の相談窓口として、よりよいものとなるよう、センターの運営に協力していきたいと思います。自立支援協議会では、就労支援部会、地域生活支援拠点等プロジェクトチームに参画しています。就労支援部会の課題などを学ばせていただきながら、相談支援の視点から活用できそうな情報などは積極的に提供していきます。地域生活支援拠点等プロジェクトチームにおいても、どのような取組が必要かなどを一緒に考えていきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>では、続きまして、慶徳会障がい者相談支援センター、お願いいたします。</p>

<p>事務局（慶徳会・江越）</p>	<p>慶徳会障がい者相談支援センターの江越といいます。よろしく申し上げます。</p> <p>ページは73ページをご覧ください。</p> <p>担当地域の特徴ですが、私たちは春日丘・穂積小学校区を担当しています。地域内には大学や大型商業施設、総合病院があり、交通機関もJR茨木駅などが近くにあり、日常生活に必要な環境が整っています。また、会社や工場が地区内に多いことと、住宅の一部に傾斜のきつい地域があるのがこの地区の特徴と言えます。加えて、長年この地域で生活されている地元の方々同士のつながりが強い地域ですが、近隣地域に大学ができたことや、新しいマンションが多く建設され、学生や若い世帯が増加し、長年生活されている世帯と若い世帯が混在していて、地域のコミュニティーが希薄になりがちで、支援が必要な方の発見をはじめ状況把握が困難な地域でもあります。</p> <p>続きまして、令和3年度の実績報告に移ります。令和3年度では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域の会議が中止になることもありましたが、開催された月には感染拡大防止対策を行い、欠かさず参加しました。また、地域の方々や各支援機関とともに避難訓練や圏域の小学校での福祉体験会に参加して、顔の見える関係を築きながら障害理解を広めていくことができました。また、自立支援協議会では、研修・啓発プロジェクトチームの座長として、全3回の連続講座を実施しました。</p> <p>令和4年度事業計画のほうに移りたいと思います。自立支援協議会では、研修・啓発プロジェクトチームと地域移行・地域定着部会の副担当として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、市民、支援関係者へ障害理解を深めていけるよう取り組んでいきます。</p> <p>以上です。ありがとうございました。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、続きまして、いばらき自立支援センターぽぽんがぽん、よろしく申し上げます。</p>
<p>事務局（ぽぽんがぽん・山本）</p>	<p>いばらき自立支援センターぽぽんがぽんです。よろしく申し上げます。</p> <p>担当地域は、茨木・中条・大池・中津小学校地区を担当しております。</p> <p>令和3年度のまとめとしまして、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で社会参加や余暇活動が大きく制限された1年でした。各利用者の状況に合わせて、電話対応やオンラインでの面談等支援を工夫しました。また、自立支援協</p>

<p>加藤会長</p>	<p>議会では、子ども支援PTの座長を担わせていただきました。</p> <p>令和4年度に力を入れることに関しては、権利擁護の視点をより意識を高めて持って、相談支援を行っていかうと思っております。また、自立支援協議会では相談支援部会の座長として、相談支援に必要な視点を改めて学ぶ機会を設けて、相談員のスキルアップを目指していけたらと思っています。</p> <p>以上です。ありがとうございます。</p>
<p>事務局（リーベ・社）</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、続きまして、相談支援センターリーベ、お願いいたします。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>相談支援センターリーベの社と申します。</p> <p>75ページをご覧ください。相談支援センターリーベの担当地区は、玉櫛・水尾、天王・東奈良小学校区になります。場所としては、阪急南茨木駅の周辺です。地域の特徴としては、古くからの地元の方が多地域や公営住宅、マンション、新しい住宅が立ち並ぶ地域があり、世帯構成は独り暮らし、子育て世帯、高齢者世帯と幅広く混在しています。駅から離れると医療機関は少なくなりますが、スーパーマーケットやコンビニエンスストアは各地に点在しています。</p> <p>次に、昨年度のまとめですが、昨年度は養護者からの虐待の疑いがあるケースへの対応件数が例年に比べて多く、虐待防止センターと連携して迅速な対応に努めました。また、地域のセーフティーネット会議に参加し、様々な機関と連携を深め、障害者相談支援センターとして助言や、社会資源の周知を行いました。自立支援協議会においては、子ども支援プロジェクトチームの副座長を務めました。</p> <p>次に、今年度力を入れることについてですが、①地域の利用者、御家族がなんでも相談できる事業所であるよう信頼いただける関係づくり、職員の資質の向上に努めます。②フォーマル、インフォーマルにとらわれず、幅広い分野における社会資源の情報収集に努める。③積極的に地域生活支援拠点の運用に努める。④自立支援協議会においては、子ども支援プロジェクトチームの座長として、各機関の持つ専門性や強みを活かした活動を行います。</p> <p>報告は以上となります。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>続きまして、相談支援センターとんぼ、よろしく申し上げます。</p>

<p>事務局（とんぼ・井上）</p>	<p>相談支援センターとんぼです。よろしくお願いします。</p> <p>担当地域の特徴としましては、葦原・玉島小学校区を担当しています。旧家が多い一方、近年はマンションや新興住宅地が広がっていて、世帯層も幅広くなってきました。地域住民の人間関係の希薄を少し感じる地域と思っています。</p> <p>令和3年度のまとめは、複数の課題を抱えるケース対応が増えており、多職種、多機関と連携しながら支援を行いました。近年言われている8050問題を重視し、家庭背景を見ながら支援を行いました。令和2年度はコロナ禍もあり、当法人内でもクラスターが発生するなどして、セーフティーネット会議には参加できないことがほとんどでした。自立支援協議会の役割としては、子ども支援プロジェクトチームの副座長として運営に携わりました。相談支援部会の座長として、運営に携わりました。</p> <p>令和4年度に力を入れることとしては、各関係機関と情報共有、連携しながら、当事者だけでなく家庭背景を見ながら支援を行うこと、南地区保健福祉センターが開所され、当法人も在籍する形となるため、より一層の情報共有、連携を図りながら、抱え込み支援を抑制し、よりよい支援に力を入れていきます。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、菜の花障害者相談支援センター。</p>
<p>事務局（菜の花・舟木）</p>	<p>菜の花障害者相談支援センターの舟木です。</p> <p>77ページが該当ページになります。</p> <p>菜の花障害者相談支援センターは、エリア担当というわけではなく、基幹相談支援センターの一部の委託を受けています。精神障害者を中心とした相談を受けておりまして、茨木市精神障害者相談支援センターという形でホームページにも載っています。茨木市内でも、全体の実人数とも件数とも、精神障害の方の相談が50%から60%を占めており、その中で基幹の一部の機能として協力できるようにとということとさせていただきます。ですので、エリア担当は茨木市内全域です。ただ、法人があるのが東圏域に法人がありまして、同一法人に病床のあります精神科病院もあります。東圏域に有床の精神科病院が集中しています。ですので、入院や退院の支援に加え、入院されている方の高齢化など、やっぱり身近で見える課題というのを地域につなげていくのも法人の役割かなと思っています。</p> <p>相談支援事業所からの相談も多く、訪問や同行、支援の検討を事業所と一緒にしています。また、ホームページとかからも市民から相談が入りますし、地域の支</p>

<p>加藤会長</p>	<p>援者からの相談も受けている形になります。令和3年度では、自立支援協議会で多くの部会～相談支援部会、地域移行支援部会、当事者部会、障害者避難所プロジェクトチームと一緒に運営に携わっています。</p> <p>令和4年度は、先ほどお話ししました、地域生活支援拠点等のプロジェクトチームの運営で中心になっていく予定で、地域づくりに令和4年度は強く参画していく予定となっております。</p> <p>以上です。</p> <p>どうもありがとうございました。それぞれの御報告、ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの説明について、御意見、御質問等ありましたらお聞きしたいと思います。</p> <p>1つの相談事業所についての質問でも結構ですし、相談支援事業についての全体的な御意見や御質問等でも結構です。何かおありの方は挙手をお願いいたします。</p> <p>森脇委員。</p>
<p>森脇委員</p>	<p>市民委員の森脇です。</p> <p>この報告の中で、何度か地区保健福祉センターっていうことを言われてたんですけども、どのように市民さんのほうにこういうセンターができたよっていうことを周知されることをされているのかっていうことをお伺いしたいです。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局（福祉総合相談課長・澤田）</p>	<p>福祉総合相談課の課長の澤田です。</p> <p>現在、地区保健福祉センターいうところで、市の5圏域、東・西・南・北、中央、この5か所にこれから造っていく予定にしております。令和3年に東、この令和4年に南と西が開所しておりまして、それから来年度、中央を開所する予定となっております、北についても、年数のほうはまだはっきりとはしてないんですけども、開所の予定ということで、5か所をやっていきます。周知という部分なんですけれども、まず、市のホームページであったりとか、それぞれ開く前に民生委員の会であるとか、福祉委員の会であるとか、色々なところで説明をさせてもらってきております。</p> <p>一番やっぱりやっていかないといけないのは、センターができた後でそれぞれの</p>

	<p>地域の方とつながっていけるように、こちらのセンターっていうのが、地域包括、障害者相談支援センター、CSW、生活支援コーディネーター、さらに茨木市の保健師、市の職員、様々な機関が一緒に入って仕事をしておりますので、その中で、いろいろと一緒に地域に出て色々な事業をやる中で、こちらに相談に来ていただければいろんなことに相談にのれますよというところと、一つはアウトリーチができるっていうところを、皆さんにどんどん知ってってもらう活動をやっていくというふうに考えておりますので、地域づくりという部分では社協にも来ていただいて、一緒に動いていただくということをやっておりますので、福祉と保健がつながっている前線基地という形で御理解していただければありがたいと思います。お願いします。</p>
<p>森脇委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、民生委員さんだったりとか、いろんな方を通じて周知をされてるっていうふうにお聞きしたんですけども、もしできるのならば、いろんな申請書類を送付されますよね、郵送で、その中にチラシを入れていただいたらいいかなと思うんですよね。必ず目に触れると思うんです。送付される方っていうのは、いろんな福祉だったりとか制度を使ってらっしゃる方ですので、やっぱり問題というか、いろんなことを悩まれる方が多いと思います。いろいろチラシ代とか、経費がかかるかもしれないですけども、一度そういう形で各御家庭に配付するっていうことも御検討いただけたらありがたいなというふうに思っています。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>どうもありがとうございました。</p>
<p>事務局（福祉総合相談課長・澤田）</p>	<p>ありがとうございます。今後また検討させていただきます。</p>
<p>森脇委員</p>	<p>よろしく申し上げます。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>他にいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、この議題のうちの令和4年度の障害者相談支援事業の事業計画については承認案件となっておりますので、また挙手で承認について確認を取りたいと思います。</p> <p>全ての事業所の令和4年度事業計画について、御承認いただける方は挙手をお願いいたします。</p>

<p>事務局（福祉総合相談課係長・名越）</p>	<p>どうもありがとうございます。過半数以上の方が挙手してくださいましたので、議題4についての承認となりました。</p> <p>では、続きまして、議題5、茨木市における障害者相談支援体制及び相談支援実施状況について、また、令和3年度茨木市障害者相談支援事業の概要について、また、令和3年度茨木市障害者基幹相談支援センター事業実績報告・令和4年度事業計画について、この議題5については報告案件になりますので、福祉総合相談課のほうから説明をお願いいたします。</p> <p>福祉総合相談課、名越です。議題5につきまして、説明いたします。</p> <p>81ページをご覧ください。令和3年度茨木市障害者相談支援事業の概要について説明いたします。時間の関係上、詳細な件数の報告は省略させていただきます。</p> <p>まず、中央の表は、相談支援人数を障害種別に集計したものになります。令和3年度の実績は2,866件、前年度の2,667件から199件の増加となっております。</p> <p>82ページの上の表をご覧ください。こちらは相談支援を行った件数を障害種別に集計したものになります。令和3年度の実績は49,570件、前年度の45,689件から3,881件の増加となっております。</p> <p>下の表は、支援方法別に集計したものになります。令和3年度の実績は38,152件、前年度の34,980件から3,172件の増加となっております。50%以上を占めていました電話相談の割合が約35%に減少した一方で、メールによる支援が大幅に増えております。相談者の相談方法に変化が見られました。</p> <p>83ページをご覧ください。この表は支援内容別に集計したものになります。前年度と比較しまして、健康・医療、不安解消・情緒安定、家計・経済の件数が増加しており、新型コロナウイルス感染症拡大が要因の一つであると考えられます。</p> <p>84ページをご覧ください。こちらは令和3年度の計画相談支援の実績となります。18歳以上では、全サービス支給決定者2,101人のうち計画相談支援利用者は790人、割合は37.6%になります。児童では、全サービス支給決定者数1,544人のうち計画相談支援利用者は268人、割合は17.3%となります。障害児・者ともに計画相談支援事業者は微増しておりますが、サービスの支給決定者数が増加しているため、導入率は伸び悩んでおります。計画相談支援事業者の増加を図るため、令和3年度に相談支援事業所を新たに開設する事業者に対して補助制度を創設しました。令和4年度は補助対象を拡充し、既に市内で相談支援事業所を開設している事業者が新たに相談支援専門員を確保した場合に、人件費の補助を</p>
--------------------------	---

行う予定としております。引き続き、相談支援専門員の増員、計画相談支援導入率の向上に向けた取組を行ってまいります。

85ページをご覧ください。地域移行支援・地域定着支援の実績となります。令和2年度は地域移行支援、地域定着支援ともに実績はありませんでしたが、令和3年度は地域移行支援の実績が1件となっております。引き続き、事業促進に向けた取組を行ってまいります。

86ページをご覧ください。令和3年度茨木市障害者基幹相談支援センター事業報告になります。表は相談支援人数を障害種別に集計したのになります。令和3年度の実績は1,230件、前年度の1,160件から70件の増加となっております。

87ページをご覧ください。こちらは相談支援を行った件数を障害種別に集計したのになります。令和3年度の実績は10,417件、前年度の10,867件から450件の減少となっております。

88ページをご覧ください。こちらは支援方法別に集計したのになります。令和3年度の実績は8,173件、前年度の8,325件から152件の減少となっております。障害者基幹相談センターが初期対応をした相談事例を、地域の相談機関である障害者相談支援センターへスムーズに引継ぎが行われていることが理由と考えられます。

89ページの表をご覧ください。支援内容別に集計したのになります。こちらも前年度と比較しまして、健康・医療、不安解消・情緒安定の件数が増加しており、新型コロナウイルス感染症拡大が要因の一つであると考えられます。

次は、90ページをご覧ください。こちらは障害者虐待防止センターの実績報告となります。ページ中央の表は、養護者による障害者虐待の相談・通報者を集計したのになります。令和3年度は80件、前年度の37件から43件の増加となります。

続きまして、障害福祉施設従事者等による障害者虐待についてです。91ページの下から2つ目の表をご覧ください。令和3年度は19件となっております。

続きまして、92ページにお進みください。92ページの一番上、こちらは利用者による障害者虐待の相談・通報件数となります。相談・通報件数は7件となっております。相談内容によりまして、ハローワーク茨木などの関係機関と協力し、対応を行いました。

ページ飛びまして、94ページの総合的な取組、評価、分析をご覧ください。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の防止に留意し、活動を実施しました。また、市内の指定相談支援事業所へ訪問を行い、計画相談支援の契約件数を増やすために必要な支援や相談支援の困り事などにつきまして、意見交換を行いました。今後

<p>加藤会長</p>	<p>も、障害者基幹相談支援センターは、専門的な指導、助言を行うためのスキルアップを図るとともに、市内の相談支援体制の強化に努めていきます。</p> <p>最後に、障害者基幹相談支援センターの事業計画となります。95ページをご覧ください。今年度も引き続き総合相談、専門相談、権利擁護、虐待対応、地域移行、地域定着の促進の取組、相談支援体制強化の取組につきまして、関係機関と連携を行いながら事業を行ってまいります。以上となります。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの御説明について、御意見、御質問等ございましたら挙手をお願いいたします。</p> <p>三浦委員。</p>
<p>三浦委員</p>	<p>市民委員の三浦です。各事業所の方が、コロナ禍でとても御苦労されていると思います。</p> <p>今の相談支援事業の概要の中で、ちょっとお尋ねしたいというか、お聞きしたいことがございます。実は、私、人権・男女共生課の、今日、課長もいらっしゃってるんですが、人権尊重のまちづくりの審議会の市民委員もさせていただいております。その中で市民意識調査の報告を受けまして、一つびっくりしたことがありまして、LGBTQに関しての意識がすごく市民の方、高いついていうことと、あと、相談をしたいんだけどもってというような、相談場所を求めておられるような意識調査を目にしまして、非常にすごいなど、市民のほうがとてもよく理解されているのかなっていうふうに、ちょっと感動した部分もございます。</p> <p>それで、LGBTQの方は障害者ということではないと思うのですが、非常に配慮を必要とされる方々なのではないかと思ったり、昨今の社会関心事からも非常に意識されていると思います。この支援事業の概要について見ておりましたら、障害者の方で不明っていう方であるとか、相談支援内容がその他のところが多くて、この中にLGBTQの相談などが実際あったのかなっていうところ、あと、それから、障害ではないけれども、障害というか、配慮の必要な方々の相談というのが実際あったのかなっていうのをちょっとお聞きしたいなと思ったり、お答えいただけたらなと思います。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>どなたかお答えいただけるのは可能でしょうか。</p>

事務局（福祉総合相談課係長・名越）	<p>福祉総合相談課、名越と申します。集計の中身につきまして、細かいところまでは分からないというのが正直なところになりますけれども、今、委員おっしゃられたように、LGBTQというところで相談が入っている可能性はあるかなと思いますが、実際何件入っているかであったりとか、割合が何%かっていうところまでは、ちょっとすみませんが、把握しておりません。以上となります。</p>
三浦委員	<p>もし支援内容というところに入れることができるのであるならば、来年度から入れていただくというのも一つかなというふうに思いました。LGBTQのNPOが大阪市内で相談支援を立ち上げるっていう話をたまたま先日聞きまして、非常にやはり相談支援に関しては専門性が必要とされてきているなっていうのを感じておりますので、皆さん、これからもいろいろ知識をたくさん取っていただいて、よい支援をしていただけたらなと思っております。ありがとうございます。</p>
加藤会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>教育の分野でもLGBTQについては、いろいろ文科省のほうもマニュアルをつくられたりだとか、対応指針を出したりしているところですが、またよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
事務局（福祉総合相談課係長・名越）	<p>すみません、福祉総合相談、名越です。報告につきまして、今、御意見いただきましたけれども、大阪府へ報告する項目と一致する必要がございますので、なかなか項目を追加するというのがすぐ対応できるかどうかというのはちょっと難しいかなというところがありますので、一応御意見としては頂戴いたしてまいりますけれども、よろしくお願ひいたします。</p>
加藤会長	<p>では、申し訳ありません。辻委員さん、お願ひいたします。</p>
辻委員	<p>当事者部会の辻です。82ページの支援方法の電話相談とか来所相談、訪問は分かるんですが、連絡調整とか同行って、どういう支援の仕方なんですかね。</p>
加藤会長 事務局（福祉総合相談課係長・	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p> <p>同行につきましては、例えば事業所に一緒に行くような形で、訪問というのはうちのほうに行くという形ですけども、同行につきましては、どこか事業所に一緒に行</p>

名越)	くというようなことの支援方法になります。
辻委員	あと、連絡調整って分かりますか。
事務局(福祉総合相談課係長・名越)	連絡調整は、御本人、障害がある当事者ではなくて、関係者との連絡を行うときに、ここの項目に入れさせてもらっています。以上となります。
辻委員	ありがとうございます。
加藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、時間がちょっと迫ってまいりましたので、あと一つだけ、もし何かございましたら。よろしいでしょうか。</p> <p>では、ありがとうございました。議題5、茨木市における障害者相談支援体制及び相談支援実施状況については以上とさせていただきます。これで、当初予定の議題案件は全て終了いたしました。</p> <p>これらの議題以外に、この全体会で上げるべき議題等がおありの委員の方はいらっしゃいますでしょうか。いらっしゃれば、挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、令和4年度第1回茨木市障害者地域自立支援協議会全体会を開催したことにつきまして、会長として一言だけ、時間がありませんので、講評を申し上げます。</p> <p>コロナ感染の3年目を迎え、この間の報告等を昨年度からお聞きしていましたが、困難な状況下にもかかわらず、様々に各御担当が工夫を凝らして役割等を遂行いただいていることについては、深くお礼申し上げたいと思っております。また、そんな中、いろいろなリーフレットだとか、作成を具体的に進めておられたり、工夫されたりというようなことで遂行されておられるなということを強く感じます。</p> <p>また、新たに地域生活支援プロジェクトチームの立ち上げだとか、本当に生涯にわたって障害のある方が安心・安全に暮らしていけるための非常に大きな活動だと思しますので、プロジェクトチームだけではなく、全体で連携しながら取り組んでいただければというふうに思います。</p> <p>とにかく、この間、主たる実動を担っておられる関係各位の皆様には本当に頭が下がる思いですが、過剰な負担とならないように、お互いに、立場やバックボーンを思いやりながら、チーム茨木とでも言うのでしょうか、私たちもできるだけ協力して</p>

<p>事務局（とんぼ・木挽）</p>	<p>いきたいと思いますので、委員の方々にも御協力いただいて、よりよい障害者福祉を担っていければと思います。</p> <p>本日は至らない点もありまして、時間等、いろいろ皆様には御迷惑をおかけしましたが、ありがとうございました。</p> <p>事務局のほうにお返ししたいと思います。</p> <p>協議会委員の皆様、オブザーバーとして御出席いただきました皆様方におかれましては、本日は長時間にわたり、ありがとうございました。</p> <p>会議録につきましては、後日御確認いただいた後、福祉総合相談課のホームページに掲載する予定です。</p> <p>なお、次回は、12月20日火曜日、13時半からの開催を予定しております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これにて令和4年度第1回障害者地域自立支援協議会全体会を終了いたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
--------------------	--